

# Local X FORUM

Vol.4



台東デザイナーズビレッジ

machimori



辰野町



ふふふ

## 「選ばれる地域」が生み出す イノベーションの可能性

昨年度、近畿経済産業局を中心に、関東・東北・四国局が連携し、「共通目的」を持つコミュニティがイノベーションを起こす実例として、「地域一体型オープンファクトリー」に着目し、地域企業が群となって「オープンイノベーション 2.0」を体現する要件について調査・分析を行ってきました。そのうち、地域の特性・個性を活かした Social Good を生み出すコミュニティを「Local X Lab.」として位置付けています。

今年度においては、既存の業種や商習慣の枠組みにとらわれず、国内地域における「オープンイノベーション 2.0」を加速化させるため、どのような「要素」が「Local X」になりうるのか、各地の実例（ロールモデル）を発掘します。これらを通じて、VUCA 時代における国内の次代産業クラスター政策としての「Local X Lab.」の多様な可能性を明らかにすることを目的に、各地の様々なコミュニティで活躍するキーパーソンの方々による公開討論会を開催します。

開催日時

2023.12.4 MON 14:30 - 17:00

参加無料

会場 桐生商工会議所

群馬県桐生市錦町三丁目 1-25

主 催

経済産業省近畿経済産業局 / 関東経済産業局

後 援

桐生市

事務局

株式会社地域計画建築研究所（アルパック）



# PROGRAM

各地のコミュニティ・キーパーソンによる事例紹介 (Local X)

14:30



## クリエイターを集め育て街を元気に

台東デザイナーズビレッジ 村長 鈴木 淳氏

株式会社ソーシャルデザイン研究所代表取締役。千葉大学工学部工業意匠科卒業後、カネボウファッション研究所勤務を経て独立。1998年NPO法人ユニバーサルファッション協会を設立(現在副理事長)し、障害、高齢、体型などに関わりなくファッショントを楽しめる社会づくりの啓蒙活動を行う。2004年には日本で唯一のファッショント・モノづくり系デザイナーの創業支援施設「台東デザイナーズビレッジ」の村長(インキュベーションマネージャー)を受託。クリエイターや小さな企業の事業コンセプトやマーケティングの指導を行っている。インキュベーション施設を基点に、人が留まり、創業・定住へとつながる仕組みづくりについてご紹介いただきます。



## まちに関わる人が次々と増えるまちづくり

株式会社 machimori 代表取締役 市来 広一郎氏

大学院で物理学を修了したのちビジネスコンサルティング会社に勤務。2007年熱海にUターンし、ゼロから地域づくりに取り組み始める。地域資源を活用した体験交流プログラムを集めた「熱海温泉玉手箱(オンたま)」をプロデュース。2011年、民間まちづくり会社、株式会社 machimori を設立し、空き店舗を活用しゲストハウスを運営するなど、シャツツーハウスとなっていた熱海の中心市街地を再生している。一過性のイベントではなく、人が留まる仕組みをつくることで地域活性化につながった取組についてご紹介いただきます。



## 自発性を大事にして持続性につなげる

辰野町 産業振興課 商工振興係長 野澤 隆生氏

内閣府地域活性化伝道師。2001年に辰野町に入庁し、50以上の事業を立ち上げ。プレイヤー同士を有機的に繋ぎ、社会的事業を創出する支援を一貫して行う「まちづくりのカタリスト」。100人を超える「まちづくりプレイヤーエコシステム」の醸成を実現。地域を持続可能にするため、関係人口、移住人口及び共に地域を創る共創人口・共創パートナー(企業)を増やし、官民連携・民民連携を推進。通称「はじまりのひと」。趣味はグルメ、温泉、サーフィン、バイク、海釣り。「人と人をつなぐ」をコンセプトに、空き家・空き店舗などの地域資源を活用し、人を引きつけ、留めるまちづくりについて事例と共にお話しいただきます。



## つくる、あそぶ、まなぶ、ゆるやかにつながるコミュニティづくり

ふふふ オーナー 和崎 拓人氏

大学卒業後、服飾専門学校でファッショントを学び、都内でフリーのデザイナーとして活動。織維産地とのつながりを深めて相互理解の高いものづくりがしたいと考え、2019年に桐生市に移住。ファッショントアリエ兼ボードゲームカフェ「ふふふ」を立ち上げ、自身の制作をオープンなアトリエスペースで行いながら、ボードゲームカフェスペースを地元の人の交流の場とし、イベント開催するスペースとしても運営している。地域の新たなコミュニティを創出し、地域活性へとつなげてきた事例をご紹介いただきます。

デパ  
ネル  
カッ  
シヨン

16:05



- ① 地域課題の捉え方と解決に向けたコミュニティとは  
② イノベーションを巻き起こすメカニズム など

座長 (ファシリテーター)

京都橘大学 経営学部 教授 丸山 一芳氏

博士(知識科学、国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学)。新潟市生まれ。松下電器産業株式会社(現パナソニック株式会社)、株式会社リクルートワークス研究所客員研究員、事業創造大学院大学准教授等を経て現職。経済産業省近畿経済産業局調査事業オープンファクトリー研究会委員(座長)など歴任。著書に『地域産業のイノベーションと流通戦略』千倉書房(共著)、『地域産業の経営革新』税務経理協会(共著)など。

会  
場

### 桐生商工会議所

群馬県桐生市錦町三丁目 1-25

JR両毛線「桐生駅」徒歩約15分  
東部桐生線「新桐生」徒歩約20分



応募方法

以下の情報を記載して、メールにてお申込みください。

記載事項  
件名: 12/4 フォーラム申込  
氏名、所属・役職、TEL、メールアドレス

Mail  
local.x.forum-4@arpak.co.jp  
※右記 QR コードを読み込めばメールフォームが開きます▶  
※先着順  
※定員 100 名程度



お問い合わせ

事業受託機関: 事務局  
株式会社地域計画建築研究所(略称: アルパック)  
京都本社(担当: 山部・倉見・山口)  
京都市下京区四条通柳馬場西入立売中之町 99 番地

TEL 075-221-5132  
MAIL local.x.forum-4@arpak.co.jp

実施主体 経済産業省

近畿経済産業局 地域経済部 地域連携推進課(担当: 津田・古木)

大阪市中央区大手前 1-5-44

TEL 06-6966-6013

関東経済産業局 流通・サービス産業課

地域ブランド展開支援室(担当: 長澤・宇留野)

埼玉県さいたま市中央区新都心1番地1 さいたま新都心合同庁舎1号館

TEL 048-600-0314